

(国語) 傾向と対策

傾向

ジャンル・難易度・出題内容ともにバリエーションが豊富

①出題形式

試験時間は、R方式のみ地歴・公民または数学のいずれかと2科目合わせて80分。それ以外は全て1科目単体で60分である。

基礎学力テスト型は小説1問・評論2問の計3問構成で、解答数は合計37問である。R方式は大問が2問でどちらも評論。大問1・2ともに課題文2つが出題され、解答数は合計15問である。2月試験(前期)・(後期)・3月試験については、大問が3問である。内訳は評論を出題する共通問題2問、評論・古文・漢文のいずれか1問を選ぶ選択問題よりなる。解答数は合計31問前後。形式は全て選択肢から正答を選ぶマーク式である。

評論・小説の課題文の分量は3～4頁程度のほどよい量で、いずれも平易で読みやすい。古文の分量は1頁で適量、平安から江戸時代の作品まで偏りなく出題し、やはり平易で読みやすい。漢文の分量は1～2頁で適量、諸子百家や説話、随筆、漢詩とジャンルは幅広く、内容も読みやすいものから少し難解なものまで幅広い。

②出題内容

まず評論・小説について。漢字はR方式を除く全日程で出題。傍線部と同じ漢字を含む熟語を選ぶ形式が多い。語句問題は主に基礎学力テスト型での出題で、課題文中で語句がもつ意味を問うものと、対義語を問うものがあった。まれに文学史も出題されている。

空欄補充問題は全日程で出題されるが、課題文中で使用する語句を問う形式、文脈上ふさわしい語句を問う形式、副詞や接続詞を問う形式、慣用表現や諺を問う形式、これらを組み合わせて問う形式など、多岐に渡る。

読解問題としては、内容合致問題、傍線部の内容説明問題、理由説明問題、課題文の内容を示す表の理解を問う問題、脱文補充問題など多様な形式の問題が出題されている。

次に古文。文法問題は必ず出題されている。単語の知識問題、動作主の判定、文学史も出題されることが多い。ほかに傍線部の現代語訳、解釈、内容説明、理由説明、及び課題文全体の内容合致問題などが出題される。

漢文では、副詞や接続詞などの読みと意味、返り点の付け方、書き下し、現代語訳、内容説明、理由説明、及び課題文全体の内容合致問題などが出題される。まれに文学史を問うこともある。

⑥難易度

評論・小説について。漢字・語句問題はやや難しめである。空欄補充問題は標準レベル。読解問題も標準レベルである。ただし試験時間を考えると、スピーディーな読解が必要。特にR方式では、2つの課題文の比較分析を問う問題もあるので、より一層スピーディーな読解力が求められる。

次に古文。文法問題、単語の知識問題、動作主の判定問題は基礎レベル。傍線部の現代語訳、解釈、内容説明、理由説明、及び課題文全体の内容合致問題などに関しては標準レベルである。分量・問題数ともに決して多くはないので、基礎学力を積んでいれば、時間内に十分解ききれるだろう。

漢文については、やや難しめの印象。副詞や接続詞などの知識は基礎レベルだが、それ以外の問題については、標準～やや難レベルまで幅広い。特に書き下し問題は白文での出題であり、正しい漢文力を身につけていないと正解は難しい。全体的にしっかりと対策を講じていないと解答にかなり時間を要するレベル。

対策

何となくのダラダラ読みではなく、構造的な読解力を身につけよう！

総じて、戦略性のないダラダラ読みはダメで、基本に忠実な構造的な読解が求められる。

まず評論・小説について。やや難しめの出題となる漢字・語句問題に関しては、漢字ドリルや用語集などを使用した対策が有効。空欄補充問題や読解問題は、一つ一つは標準的レベルであり、直前・直後の内容に手がかりがあるが、文と文との構造的関係に着眼しないと迅速に処理できないため、普段から、指示語や接続詞や頻出語句に着眼して文章の構造を把握する読解法をトレーニングするとよい。

次に古文。文法問題については、用言の活用、助動詞の識別、敬語などがメインなので、文法ドリルなどを用いた対策が有効。単語については、300語程度収録する単語帳を何周もするとよい。動作主の判定については、接続詞や敬語などに注目した読解を日常的におこなうこと。文法・単語・動作主の判定ができれば、現代語訳にも対応可となる。読解問題については、評論・小説と同様に、文章の構造を把握する読解法を日常的にトレーニングすることが有効である。

漢文は、句形を単に暗記しただけの学習だと苦戦を強いられるレベルである。SVOなどの文構造をしっかり把握す

る正確な漢文力が求められるため、普段から漢文の文章に SVO などを書き込んで文構造を把握するトレーニングをすることに尽きる。句形に関しても、逐一構造を書き込んで学習するのがよい。このような学習ができていれば、一文一文を正確に構造的に読解することが可能となる。

文学史については、直前期に国語便覧などを使用した学習をおこなえば大丈夫だろう。